

## 大阪市立 加美東 小学校



|     |   |                |          |
|-----|---|----------------|----------|
| 住所  | 〒547-0002 大阪市平野区加美東 5-9-25  |                |          |
| 連絡先 | ☎ 06-6793-0725  | ☎ 06-6793-4175 |          |
| 校長  | 奥 雅裕  | 開校             | 昭和 52 年度 |
| URL | <a href="http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751741">http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751741</a> |                |          |

## 🚩 教育目標

「たくましい子 なかよくする子 考える子」

## 🚩 重点目標

知的的好奇心に満ち、豊かな心で学びや育ちを志向する子どもたちを育てる。

## 🚩 教育方針

豊かな心で互いに認めあい、よりよい学級・学校を築いていこうとする子どもたちを育てる。

## 運営に関する計画

## 【概要】

本校の学校教育目標には、「子どもたちが人と人とのつながりを大切に、夢や希望を持って力強く生き抜いて欲しい」という開校以来の願いが込められています。この目標を達成するために、子どもたちの「基礎・基本の学力の向上を図る」とともに、「知的好奇心を高め、より豊かに生きる」ことができるように学校総がかりで教育活動に取り組んでいます。また、その土台となる「健全で前向きな人間関係の育成」や「コミュニケーション力の向上」、さらに「学んだことを活用していく力」等も育てていくよう努めています。

## 【中期目標】

## 【取組内容:安全・安心な教育の推進】

学校アンケートの「安全で安心できる学校」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7年度末までに90%以上にする。

## 【取組内容:未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校アンケートの「知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめ、多様化する社会を生き抜く力を育成する」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7年度末までに90%以上にする。

## 【学びを支える教育環境の充実】

学校アンケートの「教育の充実」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7年度末までに90%以上にする。

## 【年度目標】

## 【取組内容:安全・安心な教育の推進、学びを支える教育環境の充実】

- ・互いを認め合い、より良い集団をめざす子どもを育てる。
- ・子どもたちが健やかに成長できる教育環境を整備し、活用を図る。
- ・人権教育の推進とキャリア教育の充実を図り、自己肯定感・自己有用感のある子どもを育てる。

## 【取組内容:未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめるとともに、国語力を向上させる。
- ・グループ活動を積極的に取り入れた体育科の授業展開を工夫し、友だちと一緒に活動したり運動したりすることで楽しさを味わわせ、運動に対する意欲を高める。自分の身体や健康に対する意識を高める。

## 【取組内容:学びを支える教育環境の充実】

- ・人材の確保・育成と柔軟な組織づくりに努めるとともに、教職員の働き方改革を推進する。
- ・日常的に子どもたちが ICT を主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高めるとともに、子どもたちの表現力や学びに対する育成につなげる。

## 校長先生からのメッセージ

本校は、今年で創立48年目を迎えました。本校には、40周年時に作成した副読本「わたしたちの町 加美東」があります。本校は、「知的好奇心を高め自主的に学ぼうとする意欲や態度」を養っていこうと全教職員一丸となって取り組んでいます。そこでここ数年、図書室や中庭の整備およびトイレの大改装に取り組んでまいりました。全く新しい発想でつくった図書室は、子どもたちに大人気です。また、中庭には「アウトドア学習室」があります。放課後、子どもたちが中庭で額を寄せ合って学習する姿はとても微笑ましいものです。低学年のトイレを改装して、「怖くない、明るい、入りやすいトイレ」を実現し、その後、宇宙や世界をイメージしたトイレ、自然を豊かに感じられるトイレ、落ち着いた雰囲気的美術館風のトイレ、世界の景色を車窓から望むようなトイレを実現してきました。このような楽しい施設づくりと共に、「知的好奇心を高める授業」の実現をめざして毎日頑張っております。「入学してよかった」「この学校で勉強していきたい」と子どもたちが思え、「子どもたちがキラリと光る学校」をめざしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 奥 雅裕

## R5 年度「全国学力・学習状況調査」

| 国語 | 算数 | 平均正答率 (%) |
|----|----|-----------|
| 65 | 62 |           |

### ●結果と概要／

国語科の平均正答率は、全国の平均(67.2%)と比較して2.2ポイント、大阪市平均(67%)と比較して2ポイント下回っている。算数科の平均正答率は、全国の平均(62.5%)と比較して0.5ポイント下回っているが、大阪市平均とは同率であった。

国語科の平均無解答率は3.7%で、全国の平均と比較して1.1%少なく、大阪市の平均と比較して0.2ポイント多かった。算数科の平均無解答率は3.4%で、全国平均とは同率で、大阪市平均と比較して0.3ポイント多かった。

学校全体として落ち着いた学習環境となっており、また、意欲的に学習活動に取り組む児童が多く、学力については、ここ数年で大阪市平均や全国平均に迫る上昇傾向や定着がみられるようになってきている。

### ●取組の成果と課題／

[国語]「書くこと」の領域については、これまで他の領域と比べて大阪市平均、全国平均との差が大きくなっており、本校における課題であった。前年度は研究テーマとして「表現する力の向上」を掲げ、様々な教科を通して表現していく活動に重点を置いて取り組んできた。学習ノートのまとめ方や宿題などにも工夫を凝らし、新たな文章課題に向き合っていく活動を多く取り入れ、表現することの素晴らしさを実感できるようにしてきた。自分の考えの理由を明確にし、自分の言葉でまとめて書き、発表や交流の場を通じた学びの場面を多く設定し取り組みを進めてきた結果、本校の課題であった「書くこと」の領域において、大阪市平均と比較して5.5ポイント、全国平均と比較して3ポイント上回る結果になった。

[算数]「数と計算」「図形」「変化と関係」の各領域については、正答率が大阪市平均や全国平均を上回る問題があったり下回る問題があったりと、それぞれの領域においても学習単元によって得意な分野と苦手な分野があり、単元ごとの課題が明確になった。一方、「データの活用」の領域については、出題された全3問すべてにおいて正答率が大阪市平均や全国平均を下回る結果となり、前回調査に引き続き本校における算数科の課題であることが明らかとなった。分類整理された表やグラフの必要な部分を読み取り、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する力が向上するよう、指導の充実を図っていく必要がある。

## R5 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

|    | 握力 (kg) | 上体起こし (回) | 長座体前屈 (cm) | 反復横とび (回) | 20mシャトルラン (回) | 50m走 (秒) | 立ち幅とび (cm) | ボール投げ (m) | 合計得点 (点) |
|----|---------|-----------|------------|-----------|---------------|----------|------------|-----------|----------|
| 男子 | 13.70   | 16.90     | 31.00      | 32.50     | 42.50         | 9.20     | 156.40     | 16.30     | 47.70    |
| 女子 | 13.90   | 15.30     | 35.80      | 32.30     | 32.90         | 9.60     | 149.10     | 12.80     | 50.20    |

### ●結果と概要／

ほとんどの種目において、大阪市平均を下回る結果となった。大阪市平均を超えているのは、男子は、立ち幅とび。女子は、立ち幅とびとソフトボール投げであった。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答に関して、肯定的な回答を示した割合は約90%となった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒は、約25%となった。5年生は、いろいろなスポーツを習い事として行っている児童が多い。その中でも、バスケットボールを習っている児童が約25%いる。バスケットボールは、瞬発力を鍛えられるスポーツのため、瞬発力が必要な立ち幅とびにつながったのだと思う。また、バスケットボール経験者を中心に休み時間はバスケットボールを楽しむ姿が多くみられた。

### ●取組の成果と課題／

学校での取り組みは、かけあし週間やなわとび週間を行った。また、学級での取り組みは、みんな遊びや体育の学習での活動を行った。

成果として、学校や各学級でこれらの取り組みを行った結果、自主的に外に出る児童が増えた。なわとび週間を行った後は、低学年を中心にいろいろな技に取り組む児童が増え、お互いに教えあう姿も見られた。かけあし週間を行った後は、高学年を中心に運動場を走る児童が増え、たくさんの児童で競い合う姿が見られた。

課題として、アンケートでは「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答に関して、肯定的な回答を示した割合は約90%であった。しかし、体力測定では、ほとんどの種目で大阪市平均を下回っている。運動に関して、楽しむことは好きだが、上達する気持ちは少ないと感じる。今後、学校としては、「もっと上手になりたい!」「もっとやってみよう!」と思わせるような活動を考えていかなければならない。

## 学校の特徴



落ち着いた美術館風トイレ



本を手にとりたくなるような図書室



アウトドア学習室としての中庭

### 遺跡資料館のある学校

本校には、「加美遺跡資料館」という、全国的にも珍しい施設が設置されています。弥生時代、本校の校地一体には大きな集落が点在していました。本校建設時に発掘された多くの貴重な遺物や、そのレプリカ等が遺跡資料館に展示されています。ときおり遠隔地からも見学者が訪れることもあります。本校では、歴史学習等で資料館を活用して、壮大な歴史について思いを馳せたり、郷土愛を育んだりする機会を設けています。



### 本に親しむ環境づくり

子どもたちが本に親しみやすい環境をつくるため、本校では様々な取り組みをしています。

1つ目は、「図書室の環境整備」です。子どもたちが読みたいような本を購入し、本を読みやすいように並べたり、本の紹介文を書いて掲示したりするなど、様々な工夫をしています。また、子どもたちにとって魅力的な図書室にしようと改装を行いました。子どもたちからは、「とても綺麗になった」「図書室でずっと本を読んでいたい」など、うれしい感想の声がかかります。



2つ目は、保護者の方々による「図書ボランティア」です。ボランティアの方々がお休み時間に図書室を開放していただき、子どもたちが本に親しむ活動の充実が図られています。

3つ目は、平野区が推奨する「ひらちゃん読書ノート」の活用です。ノートを使ってさらに読書への意欲を高めようと取り組んでいます。

### 子ども達の情操を豊かに育む学校施設

中庭には、「アウトドア学習室」として、大きなテーブルと椅子が設けられ、休み時間や放課後に子どもたちが読書や宿題をしています。また、各階のトイレを魅力あるトイレに大改修しました。



### 地域とともに子どもを育む

本校では、地域の方々による子どもたちの健全育成活動が活発におこなわれています。老人会を中心とした登下校時の「見守り隊」の活動により、子どもたちの安全が守られています。また保護者の方々による「図書ボランティア」もおこなわれ、子どもたちの読書活動をサポートしています。そして、PTA 活動として、「PTA サッカースクール」などが行われ、健全育成の精神に基づいたトレーニングを実施しています。年に数回、他校やクラブチームと交流試合をするなど、楽しく活動しています。

